



や
す
ち
う
八頭町

議会だより

第84号

鳥取県八頭町議会
令和8年2月発行

令和7年度議会報告会開催(11/29)



注目の記事

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ■ 12月定例会……………2～4 | ■ 委員会の活動報告……………8～9 |
| ■ 「八東ふる里の森」指定管理……………5 | ■ 一般質問ダイジェスト……………13～23 |

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



新しい門出を応援します

◎小中学校等入学祝い交付金事業

938 万円

八頭町小中学校等入学祝い交付金事業として、小学生 1 人当たり 2 万 5 千円分、中学生 1 人当たり 5 万円分のお買物券を交付するもの



新しい中学校の制服

水害のリスクを減らし、安心して暮らせる環境へ

◎農業農村整備事業

1,144 万円

下坂地区再区画整理事業及び上津黒地区樋門新設事業の実施に係る工事請負費を補正するもの

〈下 坂 分〉法面湧水処理経費等の増
〈上津黒分〉仮設工の変更等による増



下坂地区暗渠排水工事

空き家の再生加速中 地域の未来につながる支援

◎空き家利活用流通促進事業補助金の追加補正

390 万円

空き家改修 4 件、残置物処分 1 件に対して補助金を追加するもの





12月定例会は、10日から17日の8日間で開かれ、条例の制定・改正、指定管理者の選定、一般会計、特別会計、公営企業会計補正予算などの計11議案が提案され、いずれも原案可決としました。陳情は3件あり、1件を採択しました。

物価に負けない地域の力

国の補正予算「強い経済」を実現する総合経済対策に対応

◎八頭町生活応援商品券発行事業

1億7,265万円

食料品の物価高騰等に対応するため、**町民の方1人当たり**に**1万円**の商品券をお配りするもの



令和6年度に発行された商品券

◎物価高対応子育て応援手当給付事業

4,361万円

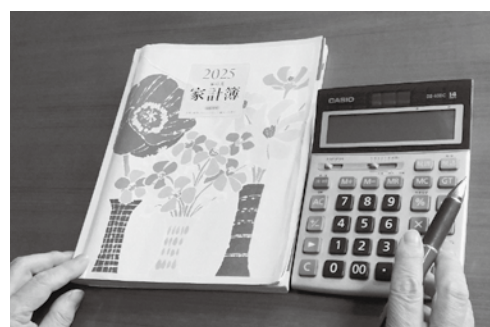
0歳から高校3年生までの子どもたちに**1人当たり2万円**を支給するもの



◎家計負担激変緩和対策事業

165万円

物価高騰による家計への負担が大きい児童扶養手当、生活保護、特別児童扶養手当、特別障害者手当受給世帯へ、**4000円**を給付するもの



吉田町長が勇退を表明

年齢的なことによる気力・体力の衰えを感じている。新たな感覚で町政運営に当たっていただきたい。

令和7年
第8回
臨時会

船岡小学校にエレベーターを設置

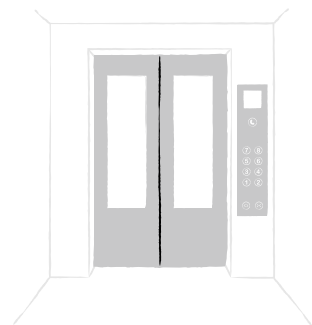
10月14日

◎工事請負契約の締結

5,819 万円

町内で唯一エレベーターが設置されていなかった船岡小学校に、このたび新しくエレベーターが設置されます。

子どもたちや保護者の皆さんにとって、階段の上り下りが大きな負担となる場面もありましたが、これからは安心して校舎を利用できるようになります。



令和8年
第1回
臨時会

各小学校に防犯カメラを設置します

1月16日

◎特別防犯対策施設整備事業

2,779 万円

郡家西・船岡・八東小学校に防犯カメラを設置するもの
※郡家東小学校には長寿命化改修時に設置済



◎各委員会の構成が変更になりました

◎総務教育常任委員会

矢部啓祐委員長 → 川西 聡委員長

◎予算決算常任委員会

尾島 勲委員長 → 岡嶋正広委員長

◎議会運営委員会

尾島 勲副委員長 → 岡嶋正広副委員長

矢部啓祐委員 → 川西 聡委員

八東ふる里の森

— これからも安心して楽しめる森 —



「八東ふる里の森」の指定管理者の指定について

「自然共生サイト」を推進し、特色のある運営コンセプトを持つ実践力と、行政・地域との連携等に積極的に取り組んでいる現事業者、株式会社エルボスケを評価し、指名による指定管理としました。指定の期間は令和8年4月1日から、令和11年3月31日まで、指定管理料は3年間で1,890万円です。

八東ふる里の森の特徴

自然共生サイトに認定

令和7年2月、環境省から「自然共生サイト」に認定されました。ブナ林や清流に囲まれ、珍しい野鳥が巣を作る自然豊かな森です。自然を守りながら観光や交流を広げる取組が評価されています。

世界目標「30by30」とのつながり

2030年までに陸と海の30%以上を「保護地域」と「OECM（その他の効果的な地域ベースの保全手段）」により保全する「30by30」という目標があります。八東ふる里の森の活動は、この世界的な目標にも貢献しています。

環境教育の場

町内外の学校が訪れ、森を歩きながらSDGsや環境保全を学んでいます。子どもたちが自然を体感し、未来へつなぐ学びの場となっています。

議案等議決結果（第8回臨時会・第9回定例会・第1回臨時会）

※採決は13人（川西議長は除く。）で行う。議案等の採決は賛成「○」、反対「×」で表記。欠席は「◎」で表記。

議案等 番号	議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件 名	森 亜紀子	小 原 徹也	尾 島 勲	田 中 俊光	谷 本 正敏	山 根張太郎	岡 嶋 正広	奥 田のぶよ	高 橋信一郎	矢 部 啓祐	中 原 幸恵	川 西 聡	灘 口 茂郎	

第8回臨時会

134	船岡小学校エレベーター設置工事請負契約の締結	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
-----	------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

第9回定例会

135	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
136	町道の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
137	八頭町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
138	八頭町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
139	八頭町障害者等医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
140	八東ふるりの森の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
141	令和7年度八頭町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
142	令和7年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
143	令和7年度八頭町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
144	令和7年度八頭町下水道等事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
145	令和7年度八頭町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第9号	保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	採択
陳情第10号	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	不採択
陳情第11号	「年金積立金の一部活用で、物価上昇に見合う年金引上げと保険料の引下の検討を求める意見書提出」についての陳情書	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	不採択
発議第6号	保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決

第1回臨時会

議案第1号	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2号	八頭町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3号	八頭町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4号	令和7年度八頭町一般会計補正予算（第6号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5号	令和7年度八頭町国民健康保険特別会計（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6号	令和7年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7号	令和7年度八頭町簡易水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8号	令和7年度八頭町下水道等事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議会運営委員会 ～議会の流れをつくる、運営チーム～

議長から議会運営に関して諮問された答申結果

◎現行の本会議初日の日程を2日間に分けて2日目に質疑を設ける申し出について

→ 現行のとおりとする。

※議案及び提案理由は5日前（土日を除く）に配付され、町長の提案理由説明（口述書）も前日配付される。したがって、質疑する準備はでき、会期を分ける必要性はない。

◎予算決算常任委員会廃止要求について

→ 現行のとおりとする。

※議員全員で審査ができ、全体を掌握することができる利点がある。必要な質疑や議論も行える。

令和7年度（9月19日～12月17日）議会活動の出欠日数一覧

【定例会・臨時会・研修会等】

議 席 番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会 議 名	議員名	森 亜紀子	小原 徹也	尾島 勲	田中 俊光	谷本 正敏	山根張太郎	岡嶋 正広	奥田のぶよ	高橋信一郎	矢部 啓祐	中原 幸恵	川西 聡	灘口 茂郎	川西美恵子
鳥取県東部議会議長会研修会（10/10 岩美町）	出	1		1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1
	欠		①病							①					
八頭町議会議員研修会（10/31）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
鳥取県町村議会議長会議員研修会（11/28 三朝町）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総務教育常任委員会視察（10/20、21 茨城県境町）	出				2				2	2	2		2		2
	欠		②												
産業福祉常任委員会視察（10/20～22 石川県）	出	3		3			3	3				3		3	
	欠					③									
部落解放同盟との意見交換会（11/25）	出			1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1
	欠	①	①						①						
八頭町議会報告会（11/29）	出	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠		①												
第8回臨時会（10/14）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
第9回定例会、会期は8日間（12/10～12/17）※本会議は4日間	出	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
議会運営委員会（5回）	出	5		5	5		5		5		5			5	5
委員長会議（1回）	出	1		1	1		1		1		1	1		1	1
総務教育常任委員会（4回）	出		4		4				4	4	4		4		4
産業福祉常任委員会（4回）	出	4		4		4	4	4				4		4	
予算決算常任委員会（1回）	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
全員協議会（7回）	出	7	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	欠		②病												
議会広報委員会（3回）	出	3		3	3			3	3		3			3	
議会広報正副委員長会（1回）	出				1				1						
議会報告委員会（2回）	出		1			1	2			2		2	2		2
	欠		①病			①									
議会意見交換会（八頭高校）	出	1									1	1	1	1	1
議会DX委員会（1回）	出	1		1					1		1			1	
議会DX研修会（2回）	出	2		2	2		2	2	2		2	2	2	2	
議員定数・報酬調査小委員会（2回）	出					2		2		2	2		2	2	
議員定数・報酬調査特別委員会（3回）	出	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	欠		①病												
議会活動(出席依頼等)	出	2			1				1		2			4	42
出席数	日	42	20	40	40	28	38	35	41	29	44	34	34	47	78
欠席数	日	1	4	0	0	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0
議会活動合計	日	43	24	40	40	32	38	35	41	31	44	34	34	47	78
※出席率(出席回数/総数)	%	98	83	100	100	88	100	100	100	94	100	100	100	100	100
遅刻回数	日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病欠欠席数	日	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【出席率全体（令和7年4月24日～12月17日）】

出席数	日	123	42	119	113	80	110	93	123	82	126	93	86	135	180	
欠席数	日	1	23	0	0	6	0	0	0	4	0	0	3	0	0	
議会活動合計	日	124	65	119	113	86	110	93	123	86	126	93	89	135	180	
※出席率(出席回数/総数)	%	99	65	100	100	93	100	100	100	95	100	100	97	100	100	
早退数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
遅刻数	日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
公務欠席数	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
病欠欠席数	日	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※病は診断書に基づく病欠欠席 ※出席率は小数点1位を四捨五入しました。

右の QR コードから「各議員の詳しい出欠状況」が、ご覧いただけます。





石川県羽咋市 はくい自然栽培事業

視察の目的

八頭町のオーガニックビレッジ宣言に関連し、自然栽培の先進地を視察することで町内の農業施策に活かすため。

視察内容

JA はくい栗木氏 ～行政と JA による取組み～
高野誠鮮氏による講演

所感

実際の圃場を視察し土づくりの様子を伺った。また、自然栽培に適した土壌づくりに数年の転換期間を要すると話を聞いた。岡山県美作市から来ていた卒業生の池上氏にもお話を伺うことができた。

本町の基幹産業の農業、10 月 19 日には「オーガニックビレッジ宣言」を行い、有機農業の生産から消費まで一貫して地域ぐるみで取組を行うことが宣言された。今後の本町の農業施策に活かすためには、「学ぶ場」が必要であると感じた。



自然栽培農業の土づくりについて圃場の視察



栗木氏と高野氏による講演

石川県かほく市 幼児造形教育

2025 年 10 月 20 ～ 22 日実施

視察の目的

かほく市の特色ある「幼児造形教育」から、八頭町においてもあーとふる八頭と連動した豊かな心を育む保育の実践へとつながるような事業等に活かす仕組みを調査するため。

視察内容

かほく市役所子ども家庭課より、幼児造形教育についての説明を受け子どもたちの作品を鑑賞し、施設を視察。

所感

この事業を通して、かほく市が幼児期の姿の育成及び特色ある教育活動の推進をしておられ、親が安心して子どもを預けられる環境づくりに取り組む事業について伺った。幼児造形教育のほか、不妊治療の全額助成や、こども屋内運動施設「あそびの森かほく」を案内していただき、のびのびと子どもたちが遊ぶ様子を見学した。遊びながら体幹が鍛えられるような屋内遊具が充実しており、本町にも空き施設を利用し、そういう施設が必要だと感じた。

震災にあったかほく市は、人口が増加していると聞き驚いたが、若者たちが集まる、子育て施策が充実している現状を視察した。ライフステージに合わせた切れ目のない施策を本町でも検討する必要があると感じた。



かほく市の事業説明



子ども屋内運動施設「あそびの森 かほく」



茨城県境町

視察の目的

ふるさと納税による財源確保と地域活性化策について調査・研修し、町内事業に活かすため。

視察内容

境町の橋本町長による講演、ふるさと納税を基軸とした特産品の加工工場、道の駅の整備（著名な建築士の設計）子育て支援センターのリニューアル全天候型の公園、BMX、ホッケー等のスポーツ施設、若者定住住宅、まちづくり公社、交流拠点施設、情報発信施設等を視察。

所感

「境町モデル」と言われる手法を確立され、地方創生の交付金を利用し、町が家賃収入で公共施設を建設している現場を目の当たりにした。良い手法なので、是非本町でも取り入れるように一般質問をはじめ、意見を出していきたい。成功事例を共有することで、役場の職員、民間の事業者、町民も自信に満ち溢れ、前向きな雰囲気が醸成されていた。シビックプライドの醸成にもつながる良い事例を学べた。



全天候型の公園



境町を走る自動運転バス



境町町長の講演



若者定住住宅

ここが聞きたい これが言いたい 議会報告会を開催しました

議会報告会(11/29)で出された
ご意見に対してそれぞれの委員会が
対応を協議しました

○日 時 11月29日(土) 午後6時～
○場 所 船岡庁舎 2階会議室
○参加者 団体代表、町民

NO	テーマ	質問・意見	議会回答	今後の対応策	所管委員会	委員会の対応
1	バス利用の柔軟化	スクールバス・町バスを団体が使いやすくしてほしい。	現行規定の制約を認識し、規約変更や柔軟運用の可能性を協議中。	運用規定の精査と利用拡大案を議会で協議する。	総務教育	まちづくり委員会の活動も町の計画事業の一環として位置づけ、年1回の利用が出来るよう提案する。
2	視察の目的と成果	京都・茨城の視察理由と八頭町の課題解決への具体的な適用を問う。	茨城県境町でふるさと納税活用、京都市で二元代表制の実践を学習する。	視察報告書に目的、今後の対応を明記することの検討する。	議長協議	これまでも目的等は明確にしているが今後も配慮に努める。
3	デマンド交通の実証実験	旧八頭地域のみを対象は不合理。谷が深い地域こそ必要。	タクシー台数などの制約により限定的に試行。議会も広域化を提案済み。	実証結果を検証し、次年度の対応を協議する。	総務教育	実証実験の検証結果を鑑みて、次の取組を提案する。
4	ふるさと納税の使途	使途の透明性が不足。地域活性化に特化すべき。	寄付時の使途指定に沿って活用。返礼品や手数料で半額程度を充当。	広報誌・HPで『使途別実績』を毎年公開(目的別・事業別)している。今後も広報の充実を促す。	総務教育	広報誌、HP等での情報提供を促す。
5	農業施策・交付金活用	農地水交付金の活用が不十分。事務負担軽減体制が必要。	受給団体は把握済み。事務手続きの煩雑さは検討課題として認識。	事務支援など今後検討し提案。	産業福祉	農林水産省では計画書の様式等簡素化を実施。周知の確認を行う。
6	高齢者の見守り・居場所づくり	一人暮らし高齢者の居場所づくりを提言しているか。	課題を認識し委員会で議論予定。	モデル事業案等(集落サロンの利便性向上等)を検討する。	産業福祉	集落サロン等の利用者の把握を行い、課題を整理。
7	議員の欠席対応	欠席が多い議員への対応は。	病欠・通院による欠席を診断書で確認。口頭要請により改善傾向。	欠席状況の定期報告と改善策を協議する。	議長協議	今後も改善を求めていく。
8	トスク跡地問題	買い物施設閉鎖後の住民利便性の確保は。	請願を可決し町長に対応を要請。今後も引き続き協議していく。	跡地活用案については、今後も協議していく。	総務教育	今後も協議していく。
9	コミュニティセンター構想	公民館とまちづくり委員会の統合案への疑問。地域の実情に合う形を。	地域検討委員会で協議中。12月2日に役場説明会の予定あり。	説明会後に住民意見を踏まえ、議会で方向性を整理して提言地元住民の意見を尊重し今後の動向を注視していく。	総務教育	地元住民の意見を尊重し、今後の動向を注視していく。

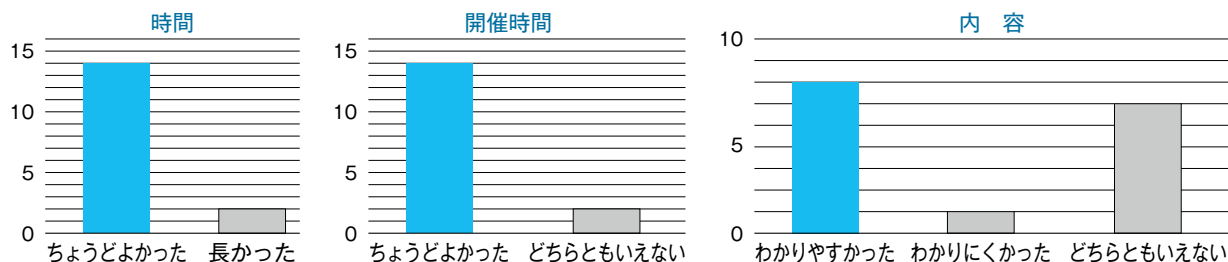
参加していただきました団体、そして町民の皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。

今後の議会活動に活かしていきたいと思いをします。



アンケートのご意見から (11/29)

議会報告会の感想は？



議会報告会をどのように感じられましたか？

- 参加者の中の1人の発言される時間が長い。
- 過疎化に関する意見が多いので、テーマを絞りながら意見交換をしても良いと思った。
- 地域性の強い話が多かった。
- 地域の農業についての悩みがよくわかりました。

八頭町議会について

- 少子高齢化、農業の衰退等、町の課題が多い。未来の八頭町をみんなで創りましょう。
- 町民の声に、スピード感をもって対応してもらいたい。公共交通が必要な時に必要な場所を通るようにしてほしい。
- 合併20年を過ぎても、いまだに八頭町の議員というよりは各地域出身の議員の意識でおられるようだ。全議員が八頭町のために仕事をしてほしいと願う。
- 議員の欠席は残念である。(1名)

意見交換会を実施した団体

月日	団体名
令和7年7月3日(木)	①10:30 中私都まちづくり委員会
令和7年7月8日(火)	②10:30 【合同】丹比まちづくり委員会 八東まちづくり委員会
	③19:00 八頭町小中学校PTA連絡協議会
令和7年7月10日(木)	④10:30 東郡家まちづくり委員会
	⑤14:30 八頭町観光協会
	⑥18:00 八頭町商工会
	⑦19:00 上私都地区まちづくり委員会
令和7年7月15日(火)	⑧ 9:30 八頭町老人クラブ連合会
	⑨19:00 八頭町男女共同参画推進会議
令和7年7月17日(木)	⑩19:00 大門の農地を守る会
令和7年7月22日(火)	⑪10:30 【合同】八頭町身体障害者福祉協会
	【合同】八頭町心身障害児(者)保護者育成会
	【合同】八頭町家族会
	⑫19:00 八頭町女性団体連絡協議会
令和7年7月24日(木)	⑬10:30 八頭町民生児童委員協議会
令和7年8月1日(金)	⑭11:00 船岡まちづくり委員会
令和7年8月12日(火)	⑮14:30 八頭町農業委員会



ぎかいのうごき



令和7年

9月20日	日韓子ども交流30周年記念事業歓迎会
22日	鳥取縣護国神社秋季例大祭
28日	八頭町福祉祭り
10月 1日	議会広報委員会 議会報告委員会 議員定数・報酬調査特別委員会 全員協議会
4日	令和7年度関西八頭町会第13回ふるさとやずの集い 新温泉町制20周年記念式典
6日	令和7年度鳥取県町村議会議長会役員行政調査 (1日目)
7日	令和7年度鳥取県町村議会議長会役員行政調査 (2日目) 議会広報委員会
8日	井原市議会行政視察(隼Lab)
9日	令和7年企業代表者及び人権啓発推進委員研修会
10日	議会運営委員会 全員協議会 東部町議会議長会研修会
13日	第17回森下広一杯八頭町マラソン大会
14日	第8回八頭町議会臨時会 総務教育常任委員会 産業福祉常任委員会 議会広報委員会
15日	定数・報酬調査小委員会
16日	鳥取県立八頭高校創立百周年記念式典 鳥取県立八頭高校創立百周年記念祝賀会
17日	東部広域行政管理組合議会議会運営委員会
18日	20周年記念高齢者福祉大会
19日	八頭町マルシェ2025
19日	香美町合併20周年記念式典
20日	総務教育常任委員会視察(茨城県境町)(1日目) 産業福祉常任委員会視察(石川県)(1日目)
21日	総務教育常任委員会視察(茨城県境町)(2日目) 産業福祉常任委員会視察(石川県)(2日目)
22日	産業福祉常任委員会視察(石川県)(3日目)
23日	日韓友好交流20周年記念事業(大韓民国横城郡)(1日目) 香美町議会行政視察(隼Lab)
24日	日韓友好交流20周年記念事業(大韓民国横城郡)(2日目)
25日	日韓友好交流20周年記念事業(大韓民国横城郡)(3日目)
26日	日韓友好交流20周年記念事業(大韓民国横城郡)(4日目) 船岡人権啓発センターまつり
27日	東部広域行政管理組合議会運営委員会 東部広域行政管理組合議会定例会 議会DX委員会
28日	東部広域行政管理組合議会定例会 八頭高校意見交換会
29日	総務教育常任委員会 産業福祉常任委員会 東部広域構成議会議長会懇談会(鳥取市)
30日	八東地域慰霊祭

31日	議会議員研修会 議員定数・報酬調査特別委員会 全員協議会
11月 2日	八頭町合併20周年記念式典 日韓友好20周年記念銅板除幕式 日韓友好交流20周年記念事業 横城郡守団 八頭町主 催歓迎会
6日	郡家地域慰霊祭 町人権教育推進協議会役員会
7日	三木市議会行政視察(隼Lab)
9日	令和7年度八頭町社会福祉大会
10日	議会報告委員会
12日	第69回町村議会議長全国大会(1日目) 鳥取県選出国会議員との懇談会
13日	第69回町村議会議長全国大会(2日目)
14日	議員定数・報酬調査小委員会
15日	令和7年度県政に要望する会
17日	全国過疎地域連盟総会第60回総会
20日	議会DX研修会
21日	第2回後期高齢者医療広域連合議会定例会
23日	郡家地域部落解放研究集会
25日	議会運営委員会 全員協議会 部落解放同盟意見交換会
26日	総務教育常任委員会 産業福祉常任委員会 区長会(船岡地域)
27日	区長会(郡家地域)
28日	鳥取県町村議会議長会議員研修会 区長会(八東地域)
29日	第20回男女共同参画フェスティバル 八頭町議会報告会
30日	令和7年度部落解放研究集会
12月 3日	議会広報委員会 議会DX研修会 議員定数・報酬調査特別委員会 全員協議会 委員長会議
7日	地方創生と鉄道をテーマとした紙面対談 第5回鳥取県八頭町PR落語会 花御所寄席
10日	第9回八頭町議会定例会(第1日目) 予算決算常任委員会 総務教育常任委員会 産業福祉常任委員会
11日	第9回八頭町議会定例会(第2日目)
12日	第9回八頭町議会定例会(第3日目) こども食堂「ふなっこ」オープニングセレモニー
15日	全員協議会 議会運営委員会 全員協議会
17日	第9回八頭町議会定例会(第4日目) 議会運営委員会

ここが聞きたい

一般質問

11人が
一般質問
しました。



QRコードを読み
込むと、YouTube
動画でご視聴いた
だけます

※ 質問や町長などの答弁は質問した議員の原稿に基づき掲載することになっており、高橋信一郎議員の原稿が未提出であるため掲載していません。

質問者	質問事項	頁
山根張太郎	本町の次世代に向けた施策	14
高橋信一郎	八東地域の振興策	未提出
岡嶋 正広	鳥獣被害対策	15
	上下水道の維持管理	
灘口 茂郎	かわはら八頭フルーツラインを活かした地域振興	16
	中小企業支援	
奥田のぶよ	小中学校体育館の空調設備設置	17
	図書館のあり方	
小原 徹也	行財政	18
川西 聡	クマの出没時に対する対応と被害防止対策	19
田中 俊光	八頭町オーガニックビレッジ	20
中原 幸恵	防災	21
森 亜紀子	子育て施設	22
	情報発信	
矢部 啓祐	産地維持のための果樹園場の基盤整備	23
	消防団の若手団員の処遇	

一般質問とは



議員が行政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問することをいいます。

議員 1 人当たりの質問時間は 30 分です（執行部側の答弁は時間に含まれません。）。

議会だよりに掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。

議事録は、議会ホームページのほか、議会事務局、各庁舎、図書館でもご覧いただけます。

次世代に向けた施策

次期改選期に向けた 吉田町長の思いは

町長／新たな方に八頭町の
未来を託したい



山根張太郎 議員

質問

- ①次期改選期に向けた吉田町長の思いは。
- ②少子高齢化が加速的に進んでいるが、次の20年に向けた主な施策は。
- ③医療、福祉、健康等、次の20年に向けた主な施策は。
- ④教育、文化、スポーツなど、次の20年に向けた主な施策は。

答弁

吉田町長

①町の将来のためにどう判断すればよいのか、自分なりにしばらく考えてきた。町長に就任して以来、これまで11年半余り、行政運営に携わらせていただいた。

正直なところ、最近年齢的なこともあって、私自身の気力であるとか体力の衰えというようなものも感じているというのが現状だ。

八頭町の課題は、どなたにも共通認識していただける課題であるというふうに考えている。私ではなく

新たな方に八頭町の未来を託したほうがよいという結論を、私なりに導き出したところだ。

②当面5か年間で必要な具体策を計画した「第3期八頭町総合戦略」として整理しているところだが、「出会いや出産、子育てを支援する取組」「生涯活躍に向けた健康づくりの推進」等、戦略に基づく取組を着実に進めていく。

③予防の観点を取り入れた健康づくり事業、運動習慣の定着や適切な食生活に関する取組を行う。特定健診、がん検診の受診率向上に向けた取組を強化する。診療や在宅医療、健康診査や予防接種事業等が、今後も地域で受診できるように、県と連携して対応し、医療体制の確保を図っていく。

また、まちづくり委員会を全地区に設置し、居場所づくり、介護予防をはじめとする健康づくりの

場とし、生活支援相談なども受けることのできる体制を整えていく必要がある。

民間による障がい者のグループホーム等の整備を支援し、その他の生活困窮者支援や、ひとり親支援なども継続していく。

④文化活動の推進は県立美術館や博物館等の町外施設との連携を図り、町民が芸術文化に触れる機会を創出し、また、文化財の保護として伝統文化の伝承の支援と、最新のデジタル技術を用いた保存について検討を行う必要がある。

スポーツ対策は、誰もが生涯を通じてスポーツやレクリエーションに楽しむことができるよう、身近な活動機会と指導体制の充実を図っていく必要がある。

答弁

薮田教育長

④令和4年3月に令和8年度を目標とする「第2次八頭町教育ビジョン」を策定した。学校と家庭、地域がしっかりと連携し、たくましいやずつ子の育成に努めていきたい。

文化に関する施策は芸術文化交流施設、あーとふる八頭内に名誉町民2名の記念館がある。

地域の偉人の功績を町内外に広く知っていただけるような発信に努

めるとともに、人材の育成が必要であると考えている。

また、町内の各地域で受け継がれてきた伝統文化は、最新のデジタル技術による文化財の保存と活用を検討を行っていく。

各種スポーツ大会を開催しスポーツの普及、強化を図ってきたが、また参加したくなるような生涯スポーツの体制づくりに取り組んでいきたい。



集いの場（東郡家まちづくり委員会）

被害的人的獣鳥 防止対策

対処可能なマニュアル 整備が必要では

町長／適切に対処できる
マニュアルを制定の方針だ



岡嶋 正広 議員

質問

市街地に出没した熊を捕獲する
為市町村の判断で発砲可能にする
法律が施行された。法改正に伴う
本町の人的被害防止対策を問う。

- ①法改正に伴い条例などの整備は。
- ②町民への安全対策についての周知及び指導は。
- ③どういう状況にも対処できるマニュアルの整備が必要では。
- ④猟友会への協力要請は。
- ⑤保育所、学校施設の安全確保及び公共施設の安全確保の取組は。
- ⑥子どもたちへの安全教育及び通学路の安全確保は。

答弁

吉田町長

- ①新たな条例制定は予定していない。町独自の緊急銃猟のマニュアル制定に向け協議を進めている。
- ②事象発生地域ごとに防災無線で注意喚起を行っている。
- ③どのような状況でも迅速かつ適切に対応できるマニュアルを制定する方針である。

る方針である。

④猟銃免許保持者の方には出勤について協力を行っている。今後も緊急銃猟の際の手順を周知していきたい。

⑤保育所では平時から門扉、玄関や窓の施錠、防犯カメラの設置等を行っている。園庭や園外活動では複数の職員で見守っている。保護者への情報提供や注意喚起を行い安全確保を図りたい。

公共施設では住民を施設内や車内へ避難誘導し、自動ドアは手動に切り替え、安全確保確認後通常業務を再開することになる。

答弁

菟田教育長

- ⑤熊撃退スプレー、ベアホーン、シールドを各学校配置に向け数量等取りまとめているところだ。
- ⑥集団での登下校、熊鈴の着用、遭遇時の対処方法を指導している。情報に応じて職員の随行、保護者への情報提供も行っている。

上下水道の 維持管理

施設・設備の老朽化対策は

町長／耐用年数を考慮して
計画更新を考えている

質問

施設・設備の老朽化に伴う維持管理についての考えは。

答弁

吉田町長

簡易水道施設は耐用年数、稼働状況を勘案して随時更新、水道管については耐用年数を経過した管路の状況把握し、耐震化と併せて計画更新を考えている。

下水道処理施設は更新計画を立て施設更新や統廃合を実施。管路については、耐用年数を経過していないため老朽化対策は実施していない。

質問

下水道管の点検方法は。

答弁

吉田町長

5年に一度マンホール内の目視及び管口カメラで管路点検を行っている。

質問

第三セクター方式による下水道事業運営についての考えは。

答弁

吉田町長

専門業者がそういった事は特筆していると思う。上下水道共、保守点検調査等業者にお世話になっている。



丹比浄化センターへ統合予定の下徳丸処理場

フルーツライン

船岡IC周辺に有機農業 体験・交流施設を

町長／現段階では
考えていない



瀬口 茂郎 議員

質問

オーガニックビレッジ構想との
連動による人流創出

①船岡IC周辺に「有機農業体験・
交流施設」を整備する考えはない
か。

②有機農業に関心のある移住者向
けの支援体制を整えるべきと考え
るが如何か。

③民間との連携は想定している
か。

答弁

吉田町長

①現段階では「八頭町有機農業実
施計画」の中で考えてないが、今
後、協議会等で運営組織体制を確
立し、事業実施の合意形成により、
補助事業に取り組まれる場合は町
としても支援を行う。

②当面、安定した生産体制の構築
を進めているところだ。無論、将
来的には考える必要があると思う
が、現段階では移住者の支援体制
を構築するのは難しい状況だ。



かわはら八頭フルーツライン

③オーガニックビレッジ宣言の効
果もあり、現在1件だが県外企業
からの問い合わせをいただいてい
る。有機農産物の販売だけでなく、
自治体と連携して有機農業を広げ
る支援や調査研究なども行ってお
り、こういった企業とも連携する
可能性も考えられる。

中小企業支援

本町独自の伴走型支援や 施策を

町長／年度内を目途に
速やかに実施できればと思う

質問

最低賃金引き上げに伴う町内中
小企業への影響は把握している
か。

答弁

吉田町長

商工会等と連携し、最低賃金の
大幅な引き上げによる影響をはじ
めとして、様々な要望等について
も、適宜把握に努めている。

質問

本町独自の伴走型支援や施策を
検討の考えは。

答弁

吉田町長

新たな取組を行い、生産性向上
につなげていく企業に対しては、
既存の「出る杭を伸ばす」補助金
の対象拡充や要件緩和をはじめと
して、何らかの支援策を実施する
方向で商工会等と連携して検討し
たい。

質問

「出る杭を伸ばす」補助金の拡充
等、本年度中に具体的な策を打ち
出す意思はあるか。

答弁

吉田町長

年度内を目途に速やかに実施で
きればと思う。



八頭町商工会

体育館の空調

小中学校体育館の 空調整備計画は

教育長／設置機器や
施工方法等の検討を進めている



奥田 のぶよ 議員

質問

来年も猛暑が予想される。小中学校体育館の空調整備計画は。

答弁

荻田教育長

優先的に取り組むべき課題として認識している。設置機器や施工方法等の検討を進めている。

文部科学省の補助制度を活用するには断熱性を確保することが条件とあり、町の財政状況を踏まえつつ可能な限り早期の設置が行われるように検討していく。

質問

小中学校体育館は避難所になっている。緊急防災・事業債での検討は。

答弁

荻田教育長

まずはこういった形がいいのかを検討している。



八頭中学校体育館

質問

スポットクーラーの対策は検討したのか。

答弁

荻田教育長

恒久的対策には不安がある。将来につながる形が望ましい。

図書館

今後の体制は

教育長／将来的には複合型の
施設等も含め検討したい

質問

①3か所ある図書館の今後の体制は。

②自主学習のスペースや学習講座が開催できるなど、多目的な利用ができる図書館が郡家駅近くになれば、多くの利用者が見込まれて活気が出ると考えるが。

答弁

荻田教育長

①現状の体制の運営は運営経費が分散することにより、資料が充実しにくい面がある。

また、バリアフリー環境、自習スペース、閲覧席、各種講座が開催できる場所等施設的に無理があり手狭で課題も多い。将来的には複合型の施設等も含め検討していく必要がある。

②図書館の利用を拡大するには「交流スペース」「社会教育機能」「図書館機能」「自然や文化を体感できる機能」を備えた複合施設が必要で、県内で近年オープンした

質問

施設には、「図書館エリア」「生涯学習エリア」「カフェエリア」等の機能を持った施設もある。
施設の位置等も含めて施設の在り方にも関係すること、今後の参考にしていきたい。

第3次八頭町総合計画に図書館を含めた社会教育施設の再編について検討するとある。智頭町がワークショップ、岩美町が検討会を開催している。本町でも検討会等を開いて早急に対応しては。

答弁

吉田町長

中央公民館は建築50年が経過している。手を入れたのもう少し使っていく必要があるが、その改築に合わせてそういうことを検討していく必要があると考える。

※その他の質問

小中学校の英語教育

行財政状況

本町の行財政状況は

町長／将来負担比率は
19・8％で問題ない状況だ



小原 徹也 議員

質問

行政を企業に例えれば、国は本社、都道府県は支店、市町村は営業所。基本、本社の意向が支店や営業所に反映される。

そう考えると、支店や営業所の権限は限られていないか。

答弁

吉田町長

無論、国の補助金、県の補助金、そういったものを優位に活用することが大前提に思う。

質問

限られた権限の中で、大きな権限とは何か

答弁

吉田町長

権限は、防災対策、廃棄物、国民健康保険など、日常生活に直結することだ。

質問

国から見て、本町の財政能力の評価は上位に位置しているか。

答弁

吉田町長

実質公債費比率10・0％、将来負担比率19・8％で問題ない状況で、早期健全化基準を大きく下回り、評価は上位に位置している。

質問

国民は国に対して株主であり、出資者と捉えれば、八頭町の赤字は町民への配当がない状況だ。

町民一人当たりの未配当額（借金）は。

答弁

吉田町長

地方公共団体が一会計年度を超えて行う借入れである地方債を例に挙げると、令和6年度末における町民一人当たりの残高は約109万円余りになる。

質問

本町は営業所（庁舎）を新築しようとしていますが、町民には知る権利がある。説明されているか。

答弁

吉田町長

議会をはじめ行政懇談会で「まちづくり基金」の活用を基本に考えていると説明している。

現在、県とのやり取りを行っているが、施設内容、規模等は決定していない。

事業費の圧縮、財源負担の平準化、財源調達について十分に検討していく必要がある。本格的な協議はこれからだ。

質問

庁舎建設だけでなく、町長の説明が届いていないのでは。

答弁

吉田町長

町民皆様方の声を聴くこと、こちらの声を届けることに努め、情報を共有してまいりたいと考えている。

質問

住民に利益をもたらす行政運営が使命だが運営に不安があると言われれば、運営者の説明義務にならないのでは。

答弁

吉田町長

町民の皆様方のご理解と御協力を得ながら理解を得るように努めてまいりたい。



八頭町役場本庁舎

クマの出没

被害防止対策は

町長／町報で被害防止に
向けた記事を掲載している



川西 聡 議員

質問

- ①クマの出没時及び目撃時の町民への避難指示や安全誘導の対応は。
- ②保育園児や学校の児童生徒の安全配慮への対応は。
- ③町民への日頃からの広報活動は。
- ④森林や畑、農作物の被害や作業中の安全確保の対応は。
- ⑤クマの駆除のために猟友会や警察、その他の機関等との連携は。
- ⑥クマと人との境のある「すみ分け（ゾーニング）」の森林づくりが必要と考えるが所見は。

答弁

吉田町長

- ①最初に現場周辺の状況を確認した上で警察と連携し、町民の安全確保を最優先に対応している。

特に、緊急猟銃が必要と判断される場合は、銃弾が到達する可能性のある該当地域の住民に対して防災無線放送、居宅戸別訪問等を

行い屋内待機を指示する。次に、

必要に応じて安全が確保出来る場所への誘導を行う。また、現場周辺には職員を配置し通行制限や周知を行うことで二次被害の防止に努めている。

②保育所では、平時からフェンスや門扉の設置及び施錠、玄関やテラスの窓等の出入り口の施錠、防犯カメラの設置等により、クマに限らず外部からの侵入がしにくい環境づくりを実施している。

また、定期的な清掃等で人や鳥獣が隠れやすい環境を作らない、動物の餌になる柿や栗等を置かない、園庭や圏外での活動時でも複数職員によるチームでの見守りを行っている。

緊急時には屋外活動の制限や施設内の避難実施と共に、保護者への情報提供や注意喚起等を行いながら保育活動時や通所時の安全確保を図りたい。

③目撃情報が寄せられた際には、

緊急に事象発生エリアごとで防災無線で迅速に周知を行って地域住民への注意を呼び掛けている。

クマの活動が活性化する時期には町報で注意点や遭遇時の対応、餌になる生ごみの適正管理等被害防止に向けた記事を掲載している。

④山林奥地での作業の際には、クマ鈴を身に付けてクマに自身の存在を知らせる対策を町報で周知している。また、山に近接した果樹園等ではラジオを流して人の気配を示し、クマを寄せ付けない工夫を行っている。

⑤猟友会員で猟銃免許の所有者には、クマの出没時には出動対応をして貰うようにあらかじめ協力を頼んでいる。

⑥県がゾーニングの方針を示していることから、本町もこれに沿って取組を進めている。

具体的には、人の生活圏とクマの生息地域との間に、概ね200mの緩衝地域を設け、当該区域ではやぶの刈り払いの実施やクマを誘引する恐れのある放任果樹の除去を行う等、防除ラインの整備に努めている。

答弁

藪田教育長

②小学校では、集団登校とクマ鈴



以前に出没したクマ（志子部）

の着用をしている。野生動物に遭遇した時にも対処方法を発達段階に合わせて指導している。威嚇しない、目を合わせない、静かに逃げる等である。

野生動物の出没情報に応じて、学校職員の随行や街頭指導を行うと共に保護者への情報提供を行っている。中学校も同様である。

オーガニック ビレッジ

バイオ炭は一般の 生産者も参加できるか

町長／実証実験をして
社会実装に向けていく計画だ



田中 俊光 議員

質問

八頭町マルシェで行われたオーガニックビレッジ宣言について、主に水稲の有機栽培について行われたが、他作物は対象にならないか町長の所見を伺う。

答弁

吉田町長

農林水産省が推奨するオーガニックビレッジの基本的な考え方は有機JAS制度により認証された農畜産物、加工食品を対象としているが、八頭町ではこれに加えて県の特別栽培認証作物等、環境に優しい農業を推進する計画だ。

質問

実施計画書によれば、有機米を学校給食に取り入れる計画になっている。5か年で140日に増やす計画だが目標に到達できるのか町長の所見を伺う。

答弁

吉田町長

有機農業者が9名から12名に増加しただけでは5年後の目標は実現困難かもしれないが、JAS認証の特別栽培米を有効に活用できたらと考える。

質問

実施計画書によれば、果樹の剪定枝でバイオ炭をつくり、圃場に還元して温室効果ガスの削減につながるというが、この取組には一般の果樹農家も参加できるかどうか町長の所見を伺う。

答弁

吉田町長

果樹の剪定枝によるバイオ炭をつくる取組は、鳥取大学と鳥取県八頭農業改良普及所と連携して令和5年から研究中であり、一般の果樹農家にはまだ普及段階には至っていない。いずれ、試験結果をまとめた後に実証実験をして社会実装に向けていく計画だ。

質問

火事が結構多発している。大概の農家が剪定くずを燃やして処分している状況だ。昨年までは剪定くずが買取りできていたが、現在はリンピアいなばに持ち込むと重量10キロ当たり120円かかり、何回も往復している。このバイオ炭が一般の果樹農家が使用できれば、大いに果樹農家は助かると思うが。

答弁

吉田町長

果樹の関係で10圃場を鳥取大学等と一緒に研究し取り組んでいる。鍋型の炭化器で剪定くずを燃やして炭をつくって土壌に返すということが有効である結果が出れば普及させたい。炭化器については町として助成をしていく必要があると考える。

質問

太陽熱処理により雑草の生育抑制の取組だった。果樹のほうでは日陰になるということで難しいという答えだった。試験はしてみているかどうか。

答弁

吉田町長

調査をしてみてマルチを畑にかぶせて土の温度を上げて、それを

撤去してから時期を見て作物を植えるというものが実験していない。書物等を見たが、少し果樹園には合わないと考える。

質問

11月29日付日本農業新聞によれば、基幹的農業従事者人口がこの5年間で25パーセント減少して102万1000人になったと報じられている。町長の所見を伺う。

答弁

吉田町長

特色ある農業ということでオーガニックビレッジ宣言をさせていただいた。これから推進していきたい。水稲とか果樹とか、担い手が非常に少なくなっていると思われるが、町も県・J Aと連携してこれからも農業振興に努めていく所存だ。



オーガニックビレッジ宣言
(八頭町マルシェ)

アイ・ドラゴン4設置

情報格差を埋める方法として 設置を求めるが

町長／福祉避難所の中で
検討していきたい



中原 幸恵 議員

質問

災害情報を伝達するものとして、防災無線などがあるが、外出時や聴覚障がい者の方が情報を知る方法として、ほかにあるか伺う。

答弁

吉田町長
ホームページ、SNS等で送信している。Ｌアラート通信で各局の画面で情報を確認出来るケーブルテレビでテロップが流れる。

質問

特に障がいのある方が避難された場合の対応を伺う。

答弁

吉田町長
受付、問診等を行い、要配慮者スペースに誘導し、指定避難所での避難生活が可能か判断し、難しい場合は、福祉避難所や関係福祉施設などに移動する。

質問

令和7年11月19日現在、町内に障がい者手帳を所持の方が1034人いる。避難所で、外見から分かりにくい障がいのある方が、周囲に支援を必要なことを伝えるツールとして、障がい者バンダナがあるが、導入してはどうか。

答弁

吉田町長
今初めていただいたので、内容も含めて調査していく。

質問

鳥取県聴覚障害者協会などから、鳥取県全市町村にアイ・ドラゴン4の設置の要望書が提出されている。

アイ・ドラゴン4は、聴覚に障がいのある方の目で聞くテレビを視聴するための専用受信機。インターネット回線経由で、手話や指文字つきの番組を配信し、災害時には手話通訳付きの緊急情報をリ

アルタイムで提供する装置だ。情報格差を埋めていく一つの方法として、アイ・ドラゴン4の設置を求めるが。

答弁

吉田町長
職員もアイ・ドラゴン4のことは承知している。福祉避難所の中で、当面1か所になるか分からないが、検討していきたい。

質問

避難行動要支援者名簿を作成しているが、登録者数は。個人情報観の観点から、登録しない人もあると思うが対策はあるか。

答弁

吉田町長
登録者数は、224人だ。各集落が独自に作成する「支え愛マップ」があり、情報を共有して避難や支援を迅速に行う。現在34集落ある。

質問

各集落の34集落は多くないのではないか。

答弁

吉田町長
本町には、135強の行政区があるが、約1／3だ。区長会で、制度があることを知らせていく。

質問

障がいのある方など、災害時や日常生活の中で困った時に周囲に自己の障がいへの理解や支援を求めるヘルプマーク・カードがある。対象の方に配布されているか。

答弁

吉田町長
希望により配布している。10月末現在の配布総数は、ストラップタイプが208件、バッジタイプが58件だ。ホームページ等掲載している。活用していただきたい。



アイ・ドラゴン4の設置が望まれる福祉避難所

子育て施策

子どもの屋内遊び場の整備計画は

町長／雨天に安心して
遊べる施設整備を調査検討中



森 亜紀子 議員

内部で調査・検討している。

質問

- ①子どもの人口動向を踏まえて具体的な対策は。また、本町の特色ある子育て施策は。
- ②不妊治療の助成は。
- ④子どもの屋内遊び場を整備する計画は。

答弁

吉田町長

①経済的な不安の対応として、保育料負担の軽減、医療費の無償化等、支援の充実を図っている。

また、多様な保育ニーズに応じた保育サービスの充実、体制確保を実施している。地域の子育て支援施策の充実として、相談や交流の場を、地域全体で支える取組を推進。「子育てしやすい八頭町」の実現に向け取り組んでいる。

- ②県と町を合わせた助成額で、なるべく保険診療相当の自己負担額となるよう上限を設定している。
- ③現在、雨天時に保護者と一緒安心して遊べる施設整備に向けて



絵本でゆっくり屋内施設

質問

不妊治療費の全額を町が補助することは可能か。

答弁

吉田町長

調整が必要で、検討したい。今よりも前進するような形で対応させていただけたらと思う。

情報発信

スマホアプリの導入は

町長／公式LINEの導入を検討している

質問

広報紙の発行や防災無線放送、ホームページのほか、さまざまな情報発信の方法がある。スマートフォンアプリの導入が効果的と考える。今後の計画の予定は。

答弁

吉田町長

自治体スーパーアプリは、機能が充実しているが、個人で新たなアプリをインストールする必要がある。利用するまでの手続きが面倒で、利用率が上がらないという情報がある。

スマホのアプリのLINE（ライン）は既に多くの方がアプリを取得済みで利用されている。

今年度、役場内に「公式LINE導入に向けたプロジェクトチーム」を設置し検討を進めている。令和8年度導入を目指したい。

公式LINEで町民の皆さんとしっかり繋がり、求める情報が入りやすく、行政側からも伝えた

い情報を的確に届けたい。できるだけ、引き続き導入に向けた準備を進めたい。

質問

LINEは有効な情報発信のツールである。セキュリティの問題がある。しっかり取り組んでいただきたいが。

答弁

吉田町長

セキュリティのことにも非常に大事だと思う。そういった部分にも注意して取組を進めたい。



スマートフォンの便利なアプリ

果樹園の備 基盤整備

「やらいや果樹園整備」の 取組をもっと広めては

町長／生産者部会を通じて
周知していききたい



矢部 啓祐 議員

質問

①鳥取県の「やらいや果樹園整備の取組」を活用して、果樹の新植、改植を促進し、優良圃場・次代に託す圃場の整備を強化してみては。
②果樹トレーニングファームの研修後の「農地確保」は進んでいるか。現状と課題を伺う。

答弁

吉田町長

①これは、梨栽培が継続出来なくなった場合には、新たな生産者へ継承する果樹園として園主が所属する生産組織が登録し、果樹園の流動化や担い手確保に関する取組である。本町では、重点取組のひとつとして、嵩上げ補助をして、推進している。事業が始まって10年以上が経ち、実際に継承される事案もあり、今後も果樹圃場の基盤整備が広がるよう取り組んでいきたい。

②研修生の希望に沿った農地の確保が出来ている。課題は、篤農家

が栽培面積を減らす時期がはつきりしないことから、優良な果樹園をタイミング良く継承できるかだ。

質問

この事業を活用した事例を紹介すると、平棚25aの輝太郎柿150本の改植をかん水施設設置、果樹棚等をした約615万円の事業費が本町の上乗せ分と国や県の補助を合わせるとほぼ自己負担が無く出来る。新植も同様だ。この制度をもっと広めて活用を促していく必要があるのでは。

答弁

吉田町長

生産者部会を通じて、周知をしていきたい。果樹基盤整備を進めるときかけになればと思う。

消防団活動

準中型免許の取得に対して 助成を検討しては

町長／若い年齢層が入団できるように
検討したい

質問

災害対応をはじめ、防火広報などの消防団活動を行う上で、消防車両を運転できる団員の確保は重要である。道路交通法が一部改正され、新たに準中型免許が創設されたことに伴い、普通自動車免許の取得では消防車両が運転できなくなった。本町においても消防団員が準中型免許を取得する際に費用の助成を実施すべきではないか。

答弁

吉田町長

現在、県内の10市町村で助成制度がある。本町でも若い年齢層の方々に入団していただけるよう検討していきたい。

質問

市町村が消防団員の準中型免許の取得に助成を行った場合、助成額の1/2に対して特別交付税措置が講じられている。県内の事例も多くが半額助成や一部助成だ

が、群馬県の中之条町のように全額補助の検討を期待したいが。

答弁

吉田町長

行政として、入団しやすい条件を整えていく必要があると考える。どこの自治体も5年以上在職というような制約もある。他の自治体を参考にしながら条件整備をしていきたい。



消防団の災害時対応訓練

自然を資源にエコツーリズムで地域に貢献

株式会社エルボスケ

代表取締役社長 日下部 誠 さん

八頭町町営のキャンプ場「八東ふるりの森」は昨年、環境省の「自然共生サイト」に認定されました。この豊かな自然は八頭町の財産であり、私達はこの貴重な環境を保全すると同時に観光資源として磨きあげ、エコツーリズムで交流・関係人口を創出し、地域の活性化に貢献したいと取り組んで参りました。

その取組が今年、観光庁の「サステナブル旅アワード2025」において「地域未来賞」を受賞いたしました。

春は希少な野鳥観察、夏は公立鳥取環境大学と連携した探究学習、そして秋は地元の農家の皆様とのアグリツーリズムと、四季を通じた学びのパッケージ化に取り組んできた成果を評価いただけたことは、私共にとっても大きな励みとなりました。

これからも八頭町に訪れる方々に「心のふるさと」と感じていただけるような場所を目指してまいりますので、今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



▲ 左が日下部さん

議会の傍聴をしてみませんか

本会議はケーブルテレビで生中継しています

なお、定例会の本会議はインターネット（ユーチューブ）配信もしています



TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641 (議会事務局)

八頭町議会

検索

議会、議会だよりに関するご意見、ご要望をお寄せください。

編集後記

編集委員として10カ月が経過しようとしている。議会で行なわれた議論（質疑・質問・町長答弁・討論等）とか、議会全体の活動及び委員会の活動報告などを忠実にお知らせすることが最重要だといつも感じていた。

しかしそれよりもまず、わかりやすく町民に読んでいただくことが最優先だと周辺の声。どちらが優先か？と悩んだが研修等参加するうちにどちらも同時進行で取り組むべきとはつきり言える自分となる。

議案の審議内容等わかりやすく掲載し、且つ皆様に見ていただけの議会だよりとなるよう今後も心掛けてまいります。

(記：岡嶋 正広)

